



Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
 ●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
 ●会長/尾沢三夫 ●幹事/永見吉平 ●会報/伊藤慎哉

出席報告

会員数81名

今週のお祝い

本人誕生祝: 3日 伊藤慎哉君 5日 足立博俊君
 6日 面谷博紀君 16日 関充宏君 18日 中村剛士君
 22日 松浪昭二君 26日 安井峰男君

会長挨拶

皆様こんにちは、本日の卓話はDARAZ FMの富田寛代表取締役様にお願いいたします。そして本日お越しいただいているのは本年度のガバナー補佐であります境港RCの酒井英様です。もうお一方は境港IMのPRでお出でいただいている松本雄次会員です。

後ほど境港IMのお話を戴きますので宜しくお願いたします。

4月10日は米子市の小学校の入学式が午前10時から、午後2時から中学校の入学式があり新一年生が入ってきました。嬉しいことに全校で子供たちが君が代を歌い、小学校では退場のときに新6年生が新1年生の手を引いて行くのに絆を感じました。

3月には各学校の卒業式が有りましたが福米中学校では私の孫が卒業で、「仰げば尊し」を歌っていました。福米中では「仰げば尊し」を歌うか歌わないかを押しつけではなく生徒に決めさせています。ここ何年間か毎年聞いていますが本当に良い歌詞で心にジンと来るものがあり日本人としての心を取り戻して来ていると感じました。皆さんが歌詞を覚えているか分かりませんが何時かこの会で皆さんと歌ってみたいと思っています。

幹事報告

1. 酒井ガバナー補佐、
松本雄次IM実行副委員長来訪



2. 本日 第6回家庭集会 (井上賢明宅)
3. 5/30(水) 職場訪問 (山陰労災病院) 予定
4. ガバナー事務所より『地区大会記念誌』頂く
5. 松山南RCより野球同好会の皆様へ 創立40周年記念式典、懇親会、親善試合のお礼状頂く
6. 例会変更のお知らせ
 米子中央RC 4/19(木) 移動例会 ビジター受付あり
 境港 4/24(火) 職場訪問 〃
 米子南 4/23(月) 休会 (定款第6条) なし
 倉吉 4/17(火) 夜間例会 ビジター受付あり
 倉吉中央 4/18(水) 創立記念夜間例会 〃

5/30 職場訪問例会 (山陰労災病院) 予定

4/11 第6回家庭集会 井上賢明会員宅



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach within to embrace humanity
 こころの中を見つめよう 博愛をひろめるために

《プログラム》

「人・もの・心をつないで地域を元気にするコミュニティ放送局・DARAZ FM」

株式会社 DARAZコミュニティ放送 代表取締役 富田 寛 氏



皆様こんにちは、私はDARAZ FM 代表をやっております富田寛と申します。今日はDARAZ FMを知って戴くためこのような時間を頂きありがとうございました。

コミュニティFMとは山陰両県をエリアとしているBSSラジオと違って、市町村単位で放送をしている放送局です。大きいほうがいいのではないかと考えられますが地域の情報を密度高く伝える事と、防災の役割で20年ほど前に規制が緩和され放送ができるようになりました。我々の放送エリアは米子市ということになっていますが実際には東は中山のあたりから、西は松江市の中心部に入る手前あたりまで入ります。米子から車で30分から1時間位まで聞いていただけます。

今回の東日本大震災でも石巻市のコミュニティFMは津波で流されてしまいましたが、3日後には機材を調達し、場所も市役所に間借りをして地域情報を流し、今でもその役割を果たし続けています。

DARAZ FMの名前の由縁は、もともと喜八プロジェクトというNPO法人から派生したもので我々のDARAZの定義は「何でも真っ先に飛びついて、突拍子もないことをするけれども、何処か憎めない人・もの・出来事」を指しています。このDARAZの精神を持って活動することで米子の街を元気にしようという意味です。またこの地域の特性をよく表した言葉であるという思いからこの名前にしました。またDARAZ FMという会社の定義は今日の演題でもある「人・もの・心をつないで地域を元気にするコミュニティ放送局」ということです。今の時代は人と人との関係が希薄になって来ますが、この放送局がちょっとしたこの地域の出来事や人を紹介し発信して行く事で結び付けが出来、絆を作って行こうと思っています。大きい放送局は地域が大きいため一つの内容も遠い地区の事になりがちで要らない情報が多くなってしまいます。この点が大きな違いで、私がFM山陰を辞めてこの局を作った理由でもあります。

この放送局は一昨年6月に立上げましたのでまだ1年10カ月しか経っていません。今の大きなテーマの一つに市民参加の番組をやって行くことが挙げられます。一週間に約50番組を流していますが、放送局の限られた人数で番組を作るより市民の皆様が直接参加して戴く事でより多くの切り口で取り組む事が出来るからです。幼稚園児の夢を聞く番組、米子高専の生徒さんの番組、皆生の養護学校の生徒さんで筋ジストロフィーに罹っている方で卒業されてからも番組を続けています。その他いろいろありますが30から40歳位の中高年の方の番組が一番多いです。リスナーも様々な年代の方が居られますが、既存局と同じくらいのシェアがこの2年間に得られたと思っています。

今後さらに番組の強化を図る上で、団塊層より上の方にアイデアのアドバイスを戴きたいと思っています。またCMスポンサーとしての参加もお願いしたいのですが、何より放送を聞いて貰いたいので今日は「DARAZ FM 798」と覚えて戴きお話を終えさせて貰います。ありがとうございました。

4/8 地区協議会（倉敷アイビースクエア）



出席者：
杉原次期G補佐
荒川(圭)君、石部君、
小谷(維)君、永島
(清)君、野坂(裕)君、
上森(英)君、

4/15 大山春の一斉清掃



荒川(圭)君、江原君、長谷川(進)君、石部君、木下君、小谷君、楠君、松浪君、宮永君、永見君、永島(正)君、新納君、尾沢君、面谷君、関君、吉岡君